

日本鉄鋼協会記事

第 54 回秋季講演大会 32年度秋季講演大会は、10月12日から15日まで4日間に亘り戸畑市において、つぎの通り開催された。連日、秋晴の好天気恵まれ、非常に盛会であつた。

I. 講演会：12, 13, 14の3日間戸畑市中原九州工業大学においておこなわれた。12日午前9時開会。初めに角野会長より開会の辞が述べられ終つて4会場に分れて講演が開始された。3日間にわたる講演115、聴講者約500名、なお今回は洋式高炉百年を記念するため12日午前11時40分より次の特別講演をおこなつた。

洋式製鉄と太島高任について 岩手大学教授 経博 森嘉兵衛氏

II. 原子力特別講演会：日本金属学会と共催の下に12日午後1時より九州工業大学講堂において開催、つぎの通り講演があつた。

原子動力	工業技術院電気試験所動力部長工博	山田太三郎氏
原子炉金属材料の問題点 (a) 燃料体	東大教授工博	橋口隆吉氏
同 (b) 構造材料	阪大教授理博	篠田軍治氏

講演が終つてから、英国コルダールホール原子炉その他二つの映画が上映され、橋口博士の解説があつた。

III. 懇親会：日本金属学会と共同で12日午後5時半から戸畑市中央公民館において開催された。出席者約200名、嘉村実行委員長の開会の挨拶に初まり、ついで志村副会長(鉄鋼)、増本会長(金属)、金子博士の挨拶があつて宴に移り、会員相互に懇談を重ねた。この間郷土芸術、手品など余興も展開された。終りに桂博士の発声にて両会の万歳を三唱、和気藹々の裡に午後8時散会した。

IV. 見学会：本会ならびに日本金属学会の見学希望者約500名は11班(予定の15班中4班は都合により中止)に分れて見学の途につき、関門地方、大牟田市、長崎市等にわたる多数の工場を見学した。(詳細は12月号工場見学記参照)

第 6 回理事会 日時：10月8日(月) 会場：協会々議室。出席者：志村副会長、青木、伊藤、佐藤、俵各理事、西村監事、山岡、田中各前会長。伊木、石原、入、辻畑、松本(代理)各常務委員・橋本事務局長。

報告事項：I. 編集委員会の件。II. 工業技術院工業標準専門委員に関する件。III. 秋季講演大会に関する件。

協議事項：I. 石原米太郎氏研究基金寄附に関する件—寄附金を受領し、石原氏に対し感謝状を贈ることに決定。

II. 明33年度秋季大会開催地に関する件—慎重に考究の上後日決定のこと。III. 熔鋸炉百年祭に関する件—祝電または祝辞発送方伊藤理事に一任。IV. 職員就業規則制定の件—旅費に関する規定決定。その他次回継続審議のこと。

V. 9月中入退会その他会員異動の件—承認。VI. 9月中収支決算の件—承認(追加) アブストラクト刊行の件—継続刊行のことに決定。

臨時編集委員会 日時：10~13。場所：戸畑市八幡製鉄山生寮。出席者：(九州支部)堀田、三ヶ島、沢村、大和田野、中尾、光井、太田、井上、原岡、鈴木、正木、橋本、能勢諸氏。(本部)志村、俵、森永、横山、内山、皆木、松下、安田、橋本、田鍋、山村。

午後5時開会、会誌の編集ならびに協会の事業運営につき、活潑な質疑応答がおこなわれ、現地側委員より種々有益な意見が開陳された。終つて懇談に入り、午後9時散会した。

石原米太郎氏より鉄鋼研究基金寄附

9月25日石原米太郎氏より鉄鋼研究基金として金一千万円のに寄附を受けた。(会告参照)

東北支部講演ならびに見学会

東北支部では、東北鉄鋼協議会と共催にて、次の通り講演ならびに見学会を八戸市で開催した。

○技術講演会。10月24日午前9時より正午まで八戸商工会議所講堂にて

- 鉄鋸石の焼結について 東北大学選鋸製錬研究所教授 三本木貢治
- 低チタン砂鉄より高チタン鋸滓の製造について 京都大学理学部教授 岩瀬 慶三
- 酸素を利用する製鋼法 東北大学工学部教授 的場 幸雄

○技術懇談会。10月24日午後1時より2時30分まで八戸商工会議所において

○砂鉄製錬工場等見学会。10月24日午後3時より5時まで東北砂鉄八戸工場および日本高周波八戸工場

10月25日午前9時より11時まで日曹製鋼八戸工場および東北電力八戸火力発電所。